

第1報

银杏学園短期大学同窓生会報



本校舎



北校舎



ますます
お元気です

ニュース版発行に ことよせて

学長 六反田 藤吉

我が国に臨床検査技師令が公布されたのは昭和三十三年十二月十一日から施行された。

それまでに臨床検査業務に携わっていたのは旧陸海軍隊で教育を受けた者、或は官公私立の試験所や病院等に於て見習技師として教育訓練を受けた人達で、組織だった正規教育によって、育成された者は皆無といっても過言ではなかった。所が、終戦後から米國医学の輸入に伴い、急速な医療技術の進展から、従来の技師達には、いささか荷が重くなり、且つ、一面には老令化によって引退する者も出てくる始末の所に、この業務の重要性は日々加重して行くばかりであった。ここに於て当局は急速にこの種の新技术を有するものを育成する必要にせめられるに至って、前記法律の公布施行となった訳である。

我が熊本、否九州では逸早く、全国にさきかけて熊本医科大学内に、技師学校を付設する必要を認め、筆者等はいろいろ奔走したが、学内の空気が未だ成熟するに至らず、と言って、漫然として日を過すのは時節柄適当でないとの判断で、城内三の丸にあった化学及血清療法研究所内に、熊本医療技術専門学校を付設し、第一回入学生を選考し、入学式を挙げたのが、昭和三十四年六月であった。以後、同所に於て九年間、化血研職員を中心として教育に当たって来たが、時代の進展はこれらの教育では充分に社会の要請に及ばず、二年生短期大学に脱皮する必要を生じ、種々努力の上、昭和四十三年から短期大学に昇格し、城内三の丸の化血研の建物から出て、現在の清水町大窪八一九に、学舎を新築して移転した。

その後、四十八年には二年制から三年制短期大学に脱皮成長し、現在に及んでいる。
今や、その卒業生は、
医技専時代 九年間三二七名
二年生短大時代 五年間五三七名
三年生短大時代 六年間六九四名
合計二十年間一五五八名に及んでいる。

そうして卒業生の殆んどが臨床衛生検査技師の國家試験に合格し、熊本県下は勿論、東京以西の有名病院に万遍なく、就職し、各々その職分を盡くして奮闘中であり、その声価は既に定評のある所である。特に早期の卒業生は既に斯界の中堅から上級にあって、病院業務の進展、後輩の育成等に全力を傾注し、学校当局は頻りにこれらの卒業生と親密な連絡をとりながら、後輩新卒者の就職斡旋に御協力をお願いしている次第である。

(五十六年八月二一日)



御苦労さま
でした

会長辞任の挨拶

沢渡 勝巳

同窓生の皆さんには益々御健勝のことと拝察申し上げます。

さて、今年度の定期総会における役員改選におきまして、このたび会長を辞任することになりました。私は医技専の第一回の卒業以来今回まで通算二十年間、会長として現在まで至ってきたわけでありませ

が、同窓会がここまで発展出来たことは、偏に役員の方々の並々ならぬ御協力と、そして学校当局の御協力、御援助、同窓生の皆さんの暖い御協力によるものであります。微力な私を支えて下さった関係各位の方々に深く感謝申し上げる次第でございます。長い間大変ありがとうございました。今後は益々膨大化していく同窓会を運営していくことは大変むづかしい問題が山積しているわけですが、このような意味からも、この辺で新規一転、今の体質強化を図る必要があるかと思われま

技術講習会の御案内

開催日 昭和57年2月27、28日

場所 熊本県福祉会館

※同窓生より一般演題を募集します。

○発表時間 約10分

○演題/切 11月末日

○申込先 熊本市清水町大窪

銀大同窓会事務局
TEL (〇九六三) 四四一七六一



3年生臨地実習用実習棟

中央部に位置する細長い建物が昭和五十五年九月より新設された三年生臨地実習用実習棟です。

化血研臨床と一緒に仕事をしながら実習の便宜を計ってもらっています。現在、十六名の三年生が実習していますが、いずれは四十名位まで増やす予定になっています。

手前に銀大の運動場があり、その先の西側に位置し中に田んぼをはさんでいますがなかなか手放してくれないとのこと。左側の建物は体育館、チッポケですが卓球や空手などの練習をやっています。



会長就任挨拶

藤井 勝

皆様にはますますご清祥のこととおよろこび申し上げます。

このたび沢渡会長の後任として就任いたしましたので、宣しく御指導下さいませお願いいたします。前会長は銀杏学園短期大学の前身である医学技術専門学校第一回生であり、現在までの二十年間にわたり会長として立派な業績を残されております。

私がその後継としてどこまでやれるかと思案している次第です。

つきましては昭和五十五年度には技術講習会を七月、三月に二回開催しております。三月開催しました講習会につきましては、主催はもちろん会の運営全般にわたり同窓会で行っております。

昭和五十六年三月の同窓会総会におきまして、六反田学長を会の名誉会長として力を貸して戴くことに決定しておりますので、御紹介と皆さまのなご一層の理解と協力をお願いいたします。

本年度は講習会と各支部活動の強化、それに卒業生の就職等につき全力をあげて取組んでいきたいと考えております。

医技専三回生 藤井 勝

退職後も
元気で頑張つて
ください



ご挨拶

徳永 智行

私は、この度銀杏学園を六月三十日付で、退職することになりましたが、たまたま、時を同じうして、卒業生の会報が発行され、私は、退職に際して親しく皆様にご挨拶の機会を得ましたことを、非常に有難く、心から感謝致している次第でございます。

省り見ますと、皆様と私の出会いは、昭和三十四年からということになりますので、銀大の在学生の皆様が、まだこの世に生れてない、昔のことになりますか。それは、昭和三十四年四月も半ばを過ぎた或る日のこ

と、私は、部長室に呼ばれ、化血研で申請中であつた、衛生検査技師養成所の設立が認可されたので、直ちに開学の準備にかかるように、との指示を受け、体制もそこそこに、六月一日、第一回生の入学式が行われました。皆さんとの出会いは、この時から始まったわけですが、当初は、化血研衛生検査技師養成所といつていたが、翌昭和三十五年四月から、熊本医学技術専門学校と改称されました。教室は、元陸軍輜重隊の旧兵舎で、机、椅子は一寸動かすと、ギョコ、ギョコと音がする二人掛けのお粗末なものでした。床もあちこち穴ぼこがあつて、つぎだらけでしたが、それでも我々にとっては神聖な教室というところで、授業の後は必ず床のワックス拭きや机等の雑巾がけがよく実行されていたものでした。

時は過ぎて、昭和三十七、八年頃だったと思いますが、医技専小唄なるものが愛唱されるようになり、医技専時代、酒のある所必ず医技専小唄ありといったなつかしい思い出もあります。実現しなかつたですが、校歌や学生歌を作つてほしいという学生からの切実な要望があつたのも、この頃だったかと思ひます。

やがて、医技専時代が終り、銀大の定員一〇〇名の世代となり、衛生検査技師から臨床検査技師へと、技術、資質共にめざましく進展し、卒業生にしても、医技専三二七名に続いて銀大が既に、昭和五十六年三月の第十一回卒業生で一二三一名を数えるに至りました。そして、現在の銀大在籍学生三四二名を加えると、一八九六名の同窓が、活躍されていることになり、頼もしい限りです。

こうした中であつて、私がこの二三年間大過なく勤務できたということは、皆様の暖かいご芳情の賜と感謝に耐えない次第でございます。何とぞ今後共倍旧のご交誼下さいませよう、切にお願い申し上げます。

一人よがりの思い出になつて終つたかも知れませんが、老人のたわごとと思召しお許し下さい。人生は何といても、健康であることが何よりです。充分ご自愛の上ご健闘下さいませよう、心からお祈り申し上げます。

誠に勝手なお願いを申し上げ、恐縮に存じますが前にも申しました様に私の人生は、医技専、銀大の同窓の方々と共にその大半を過したことになる、また、それが生甲斐でもありました。机に向つて、同窓会の会員名簿をみつめてみると、その個々の人々との思い出がなつかしく浮かんできます。

そこで、甚だご迷惑なお願いとは思いますが、私とこのことについて、何等かの思い出がある方は、こんなことがあつた、このことは忘れられない、等々、ほんのひとこと結構ですので、お知らせ下さいませんでしようかお寄せいただいたものを冊子にして、私の生涯の伴侶にしたいと思ひますので、微意ご賢察の上、よろしくご協力下さいませよう伏してお願い申し上げます。

(昭和五十六年六月二十五日記す)

お願い

赤血球凝集反応による
HBs 抗原およびHBs 抗体検出用試薬

セロクリット-HBs
セロクリット-抗HBs

特長
*凝集像が鮮明で判定が容易です。
*測定操作が簡単で短時間に判定できます。
*RIA法にほぼ匹敵する検出感度を有します。

発売元 三光純薬株式会社
東京都千代田区岩本町1丁目10番6号

製造元 化血研 化学及血清療法研究所
〒860 熊本県清水町大字668

ウリカーゼと新しい発色剤〔TOOS〕を用いた酵素法による尿酸測定用試薬

新発売

尿酸 酵素法 キット-S

特長
*操作は1ステップです。
*呈色の安定性にすぐれ、再現性は良好です。
*反応は5分以内に完結します。
*ビリルビン、アスコルビン酸による測定値への影響がほとんどありません。
*自動分析機への使用が可能です。

発売元 日本商事株式会社
大阪市東区石町2丁目30番地

検査業務に取組む

姿勢と意義

医技専第一期(36年3月)卒
日本赤十字社中央血液センター

渡部 準之助

臨床検査技師制度ができて一三年有余、更に衛生検査技師法制定から数えると二三年有余の年月が経過し、又吾々の検査技師養成過程が誕生してから二二年(医技専短大)が経過して数多くの同窓生が日本全国で活躍しておられること誠に喜ばしいことであると思う。しかし、人数だけが多いが検査技師としての学問的、技術的内容を考えると、充分と言えないに近いことをやっているかと言うことになる。大きな疑問が生じるのである。

そこで、私は業務に取組む姿勢と意義について、私見を書いてみたい。

近年の臨床検査の発展は目覚ましいものがあり、特に機械化、情報化時代に対応したコンピュータ化。更には検査の細分化、専門化と複雑になり、また、検査技師の果す役割が医学界でも相当に認められ、専門職種として位置づけられてきた。そのため検査技師法の改正、それに伴う教育機関のカリキュラムの見直し等が行われている。これらの種々複雑さを思うと日常業務の中でどのような意識をもち対応すべきかを個人個人が考えて職務に取組まなければ前述の事柄に追いついていけない。

「おちこぼれ」となると思われない。そこで私が検査技師として二〇年間の今日迄業務上心掛けてきたことを記してみようと思う。それは、第一に自分が日常行うルチンの中でも常に良い意味の「疑いの目」をもって、その中で日頃と少しも異なった結果が生まれたときには原因を徹底的に追求すること。第二に過去に先輩や、専門家(学者と言われる先生達)が築いたことを踏まえながら新しいものを求める気持ちで取組むことが自己の発展や臨床の発展につながるということである。私の経験からルチンに使う試薬類や、検査量の範囲内で可成りの範囲まで「研究的」なことを行える。ルチンから一歩進めるにあたり、直ちに特別な試薬、器具を買わなければならないと言ったことはなく、不備さもないで結構すばらしい結果を得ることができ、その中に今までの誰もやっていないようなことを見出すこともあるし、それが何よりの生甲斐であり、これからの意欲に對する糧として積み上げられてくると信じながら取組んでいる訳である。要するに、自分の職務を生活のためのみと思わず、患者のため、自己の学問的技術的発展のためにある職務であり、そこから幸いにして生活も成り立っていると考えてほしいと思っているが同窓生諸兄姉の考えは如何だろうか?

以上、何だか漠然とした文章になってしまったが、この中に含まれている意義を充分に読み取って、更に皆さんの今後の指針となれば幸いである。

母校の歴史探訪

銀杏短大

医技五 高森 祐二

時代を逆登ること早や二十二年、医学技術専門学校以来の卒業生の変遷を追って見た(表A)。現在の在職者を各期ごとに見てみると卒業後結婚して検査の仕事離れた人、国試不合格などで就職を諦めた人、あるいは施設所属がはっきりつかめない人を除くと千九十九名、実際はもっと多いはずであるがこれらの人々は、多岐に分散し医療の重要な一端を担い尊い人命救助に多大な貢献をしている。その中には技師長として大いに活躍されている人が多いのも心強い。

表Bを見ていただきたい。各県別在職者と自宅会員である。熊本県ではさすがに多い。国公立、大きな病院への就職が、欠員補充が病院の新設に期待せざるを得ないのは、仕方のないことである。今後の卒業生はこの事も考慮しておく必要があるであろう。今後は大いに東中部地区等に就職の場が広がる事を期待せざるを得ない。「可愛い子には旅をさせろ」とも言う。それにはまず今以上に銀大で優秀な卒業生を育成する事が先決と更に各先輩の就職に関する協力をお願いする事もその一助であろう。そこで「国家試験にも合格しない様な卒業生を送って困る」という意見が出されるのは至極当然と思う。

まず学生の努力のみならず、学生自身がこの事を完全に自覚出来るような資料、説明を提供する教育者側にも責任を感じる所である。少し表題から脱線したが元に戻そう。

銀大になってからの国試合格の状況はどうなっているのがあるか。表Cを見てみると三年生になってからやや気の緩みが出て来ている様である。五十六年度は全国平均の合格率低下に比べ、や、持直しが見られるが兎に角合格率が何%向上したという事を問題するのでなく、学生一人一人から考えても全員合格する事を目先し一人でも国試に落ちてはならない。

次に学園の沿革史について主な内容についてまとめてみた。表Dを御覧いただきたい。北校舎開設、運動場の西側に学生実習棟が新設されるなど、着実な学校の発展が伺われる。

最後に医技専誕生以来事務の方で銀大の発展に二十二年間も寄与していただきました徳永さんが今年の六月いっぱいで退職されました。紙面を借りて同窓生一同を代表し深く御礼申し上げます。(昭和五十六年八月二十日)

表A 各年における卒業生と在職者

卒業年度	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56
卒業生	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
在職者	14	10	14	13	20	23	7	12	10	41	23	13	21	21	21	18	14	11	15	25	21
合計	15	12	17	17	25	30	14	22	20	52	36	34	42	42	27	32	25	26	30	40	42

表C 銀大以降の国試合格率(新卒卒の受験者)

期(年)	1(45)	2(46)	3(47)	4(48)	5(49)	6(51)	7(52)	8(53)	9(54)	10(55)	11(56)
受験者	106	109	107	103	110	107	125	114	112	122	108
合格者	99	90	96	87	77	56	77	77	91	71	82
合格率	93	83	89.7	84	70	52.3	61.6	68.1	81	58.2	75.9
全国総平均	97.4	75.8	85.6	52.0	52.0	50.0	53.1	56.2	70.2	48	44

表B (概数) 県、地区別在職者と自宅会員

S.55年現在	福岡県	佐賀県	長門県	大分県	宮崎県	鹿児島県	熊本県	鹿児島県	高松・山口	四国・近畿	関東	北海道
在職者	43	5	14	16	15	19	1	1	1	1	1	1
自宅会員	35	3	2	7	8	10	1	3	9	26	31	150

表D 学園の沿革史

昭和34年	6月1日	医学技術専門学校第1回入学式
43年	3月21日	学校移転 吉原町 前水町大窪819
	4月12日	銀杏学園短期大学第1回入学式
47年	10月1日	学友会発足
	4月30日	竹屋男塾学長就任
48年	5月1日	六反田藤吉 学長に就任
	4月13日	新学年第3年生となる
53年	4月10日	北校舎完成授業開始
	4月29日	学長六反田藤吉 勲二等瑞宝章を授与される
55年	9月18日	学生実習棟新設(3年生臨床実習と化学研究棟)
56年	4月10日	第14回入学式 入学者107名

ずってはいってよいくうき

市立岡崎病院臨床検査科

酒匂 睦郎

「あなたはタバコを吸っていますか。」先日、幼稚園から息子が一冊の本を借りて来た。自分で好きなものを選び、親に読んでもらっている。

夕方、私が帰ってくるなり「ずってはいってよいくうき」という本を差し出し「父さん、この本を読んでみて。」という。

内容は空気の汚れは鼻毛や粘膜によってろ過され、きれいな空気となって肺にはいり、肺胞できたない血と新しいきれいな血が交換され、運動、思考力、労働のエネルギー源となるが、タバコのけむりには小さいごみや体

《化血研の管理血清シリーズ》

- ナスコール-X (正常プール血清)
- ナスコール-XA (異常プール血清)
- セラクリア-N (正常コントロール血清)
- セラクリア-NA (異常コントロール血清)
- セラクリア-LP (脂質コントロール血清)
- セラクリア-E (酵素コントロール血清)

血清β-リポ蛋白測定用 (免疫沈降法)
 血清β-リポ蛋白測定用 (自動免疫比濁法)
 HDL分離用(抗血清法)

BLキット-S
 BL-A
 HDL分画キット-S

発売元 日本商事株式会社
 大阪市東区石町2丁目30番6号

梅毒血清反応用
 ヒトIgG吸収用

RPR-テスト “化血研”
 アブソブ-G

発売元 三光純薬株式会社
 東京都千代田区岩本町1丁目10番6号

製造元 化血研 化学化血清療法研究所
 〒600 大阪市東区石町2丁目30番6号

